

# でとうございます



賀正

「積丹町誕生60年」

まちづくりに力を合わせて」

積丹町長 松井秀紀

明けましておめでとうございます。  
平成28年の新しい年を、町民の皆さんと共に元気で迎えられることを大変嬉しく思います。

町民の皆さんには、当町の3つの課題の克服と両立の大切さを教訓に、農業・漁業・商工観光業の振興に、高齢者福祉の増進や子育て支援、教育の振興に、また、新しい町おこしの挑戦にと、郷土の厳しい情勢にもめげず、町のどこかでみんなで力を合わせ、いつも議員の皆さんとともに大きなご協力をいただいております。

皆さんの深いご理解と、温かいご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年は、大きな自然災害に至らなかったものの、異常な高波の河川遡上や複数の漁港の高波被害が連続し、また道外界の河川氾濫の緊迫したテレビニュースなどから、近年の異常な気象変動による多様な自然災害への備えの大切さと対策の難しさを痛感した年でもありました。

一方、旧美国橋が49年間の役割を終え、半世紀に及ぶ郷土の懸案「美国川河川改修事業」が多くの困難を乗り越えて本格化した姿を私達に実感させるなど、多くのまちづくり懸案課題の一つひとつの克服に、その歩みがありました。

新しく迎えた平成28年は、日本の国際平和への貢献と国土防衛、経済再生による財政再建、少子高齢化時代の社会保障制度の再構築と消費増税など、国の政策論議が活発になることが予想されています。

私たちは、その行方が国民の安心安全な暮らしや小規模自治体の今後の行財政運営にどんな影響を及ぼすのか、常に大きな関心を寄せていかなければなりません。

また、今年が積丹町誕生60年の節目の年を迎えます。昭和から平成への郷土の歩みに学びながら、我が国の人口減少時代を克服する国の地方創生対策に呼応して、住民と議会と行政が、自己決定と自己責任という地方自治の基本理念の下に、更なるまちづくりへの英知と力の結集が求められています。

私は、郷土の自然や産業、文化や歴史など優れた地域資源を活かして、町民の皆さんがそれぞれの役割を果たし、国や道、近隣市町村、大学、民間機関や積丹ファンの方々との信頼関係を大切にしながら、私たちの郷土の課題の一つひとつの克服に弛まぬ努力をしてみたいと思います。

希望に輝く新年を迎え、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶といたします。

# 2016年 新年おめ



## 迎春

「住みよい豊かなまちづくりを目指して」

積丹町議会議長 佐藤盛男

新年あけましておめでとうございます。  
町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた平成28年の新春を、晴れやかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり、積丹町議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには常日頃から町政、議会運営につきまして格別なご理解とご協力を賜りまして、心からお礼を申し上げます。

政府は、人口減少・超高齢化社会という我が国が直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生できるよう一昨年12月に、「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、地方自治体と政府が一体となって、これら課題に取り組むこととなっており、積丹町においても、人口減少を抑制するために必要な方向性と取り組む内容を示した平成27年度から平成31年度までの「積丹町総合戦略」5カ年の計画を策定し、その実現に向けて各種施策を展開しております。

我々、議会としてもその効果検証の段階において、町民の皆さまの負託にこたえられよう積極的に関わっていかなくてはならないものと考えております。

また、積丹町においても、今後、ますます高齢化が進行す

ることが予測され、多くの町民の方々は、介護が必要な状況になっても、住み慣れた地域での生活、住み慣れた地域での介護が続けられることを望んでおり、積丹町議会においても「介護・療養施設設置についての陳情」を採択した経過にあります。本年、社会福祉法人よいち福祉会が建設する積丹町地域密着型特別養護老人ホーム（ゆうるり）が完成し、供用開始できることに際しましては、大変喜ばしく、心強く思っているところです。

新たな年を迎え、私も議員一同、町民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、活力と思いやりのある積丹町の実現に向け、更に創意工夫を重ねてまいり所存でございます。

豊かで住みよいまちづくり目指し、町民の皆さまのご期待にこたえるよう全力をつくしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

本年は、町村合併60周年という記念すべき年となりました。今日を築き上げた先人のご労苦に感謝するとともに、この記念すべき年を、町民の皆さまと迎えることができましたことを心からお喜び申し上げます。

新しい年が、実り多き年となりますことを心よりご祈念申し上げます。新年にあたってのご挨拶といたします。